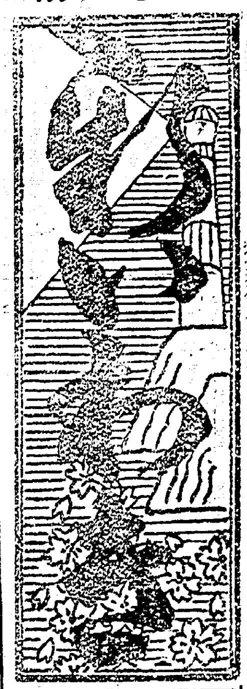


日刊（但し日曜祭日翌日休刊）　一ヶ月 二十五錢　一部 三錢
廣告料　一行四十錢
發行兼編輯 印刷人 牛谷政喜
發行所 平市大町二十三番地 新いわき新聞社

明日國道六號線を 第二技術課長の視察

湯本、植田町間の換線計畫 四倉、久濱間の急坂除去

平市を中心とする勿來、久の濱間國道六號線の改良工事につき內務省土木局第二技術課長は明廿八日午前八時磯原から自動車で石城に來郡植田町の小濱、小名濱平に至る湯本植田間の換線關係を踏査平市で晝食少憩の後四倉、久の濱に及ぶ區間の石城、双葉、郡界にある急坂二ケ所を除く換線計畫地の調査を遂げて仙台に向ふ豫定であるが沿線地から平市長、勿來町の赤津縣議その他町村長等からも實情を說き勿來、久の濱間の鋪裝工事施行の急を陳情することになつてゐる

二里の徒歩遠足、小學校は五年以上の体育競技會、同以下の低學年には日本海大海戰の訓話の後ニュース映畫を觀覽させた

小學兒童の相撲大會

優勝は平第一

平商業校主催の濱通小學校兒童相撲大會は昨廿六日同校庭に催され市內及び湯本校の出場で團体、個人の取組を行はれたが成績左記の如くである

▲團体高等科一等（廿點）平第一校　二等（四點）湯本校　尋常科一等（六點）平第一　二等（五點）同第三　三等（四點）湯本校

▲個人高等科一等佐藤（平）二等山野邊（同）三等佐藤久（同）尋常科一等山木（平）二等山野邊（同）三等大槻（同）

支那軍語

三圓五十錢ですと云ふ場合は三塊半錢でサンクアイパンチエン、この勘定は間違つてゐるねと云ふを這個賬不對罷でチエーコチアンプートイバ、どうしてですはツオンマと云ふ、

戰地の便り（上）

櫻もつゝじも今は思出の一つ

平市田町出身 鷲 廣次

前略この度は温い御心盡しの慰問品の數々誠に有難うございました、實は過日御慰問狀を頂きました節小生と木澤仁平君とは同隊でない旨御通知する考へで居りました處小生の筆不精から遂失禮いたしまして何とも申譯ございません。悪いとは思ひながら包みを開いて有難く頂戴いたしました木澤君にはお詫びの手紙を差上げました、何卒御許下さるやう重ね〳〵御願ひ申上げます、この手紙が屆きます頃には既に櫻も過ぎ、つゝじの候と存じます、散り際のよい櫻もまた一興ですが可憐に咲くつゝじの咲き揃ふた樣もまた一としほ美しいものです、私も昨年まで共れを見、語りも致しましたが今は懷しい思ひ出の一つとして心に殘つて居ります、皆樣が假に此の支那の土地を御想像なさいます時に、どんなに御考へになるでせうか、それは無理な話と御思ひでせうか、一寸想像もつかないことゝ存じます、實際自分が來て見て初めて知つたのですが、今は丁度麥が青々と限りなく續いた平野に何所までも何所までも綺麗な青畳を敷いたやうに揃ふて居るのですしかも此の麥は內地の樣に手數もかゝらない樣です、

例へば麥畑の雜草を取るにしても農夫の御內儀さんは小さな〳〵椅子に腰をかけて自分の周圍をゆつくり綴つくり整理して行きそれが終るとまた椅子を持ち運んで別の處を採り初めます、

唖者の山口忠（二六）が娘切りの眞犯人

四十余日の取調で今日送局 手まね足まね苦勞の終幕

年頃の女子をもつ家庭を戰慄せしめた娘斬り犯人と睨み去る四月九日飯野村の洞窟から平署に檢擧された石城郡赤井村の西小川字上の谷地二二當時住所不定無職の唖者山口忠（二六）についての取調べは耳も聞えず口も利けない不具者のため手まね足まねに其の筋をため手古摺らせてゐたが檢擧以來四十餘日に及ぶ實地檢證その他により「小指を出して顏を剃る手眞似の剃刀、二本指を出して腕を斬つた事實が」想像される本人の自供で眞犯人と認め今二十七日檢事局送りとなつた、尚ほ同人は變態性で盜癖があり本年一月中から四月上旬まで數回に亙る盜みをなし平市古鍛冶町六四小學校訓導佐々木そのさん方の不在に忍び衣類その他四十點價三百圓、同市城山日雁業竹輪よしのさん方不在より衣類十四點價三十餘圓、石城郡草野村泉崎丹野ひささん不在に忍び衣類、書籍二十點價三十圓平市平鑵字大室野澤庄次郎さん方不在より簞笥を開けて衣類十餘點價二十余圓、同じく下平鑵地內鎮座諏訪神社奥殿より日本刀一口と紫の幔幕一張及び平市附近の農家から白米、鷄、野菜等を窃取し前記飯野村中山の洞窟內に紫の幕を廻らし潜伏してゐたもので

盜んだ衣類は女物が多く贓品を平市南町の「うどん屋」高砂屋ほか數名へ賣却し處分の衣類その他を刑事部屋に山と積まれてある

平第三保護者會 理事評議員會

豫決算と役員選擧

平第三小學校保護者會では今二十七日午後二時から理事會を開き十四年度決算並に十五年度豫算を附議、午後三時から評議員會を招集右の決定及び役員選擧を行つた

中堅農講生の現地講習

石城郡農會の中堅農講習生は來る六月六日高久村の二毛作成績を見學し現地講習をなす

長倉坑のガス禍

ガス爆發の磐城炭鑛長倉坑の負傷者は同坑病院に收容手當中であること既報の如くうち相馬郡小高町南小高生れ採炭夫佐藤勇（三三）君は二十四日午後一時岩井三郎（三二）成田滑藏（三七）の兩君は同日午後二時何れも手當の甲斐なく絕命、これで八名の死亡であるが殘るものも經過良好と云へぬ狀態である

磐女の修旅から

（第一信）

京都！ 私共の憧れの夢をのせて東海道線をひたむきに雨の中を――始めての長の旅に眠りも忘れて皆四方山の話に語り耽つてゐる、「京都」と云はれて驚いた位だつた、七時直ちに遊覽バスに乘り西本願寺、東本願寺、三十三間堂、淸水寺、智恩院、平安神宮、金閣寺、嵐山を拜觀した、最後に大井川のほとりに緣濃き嵐山三十六峰を背景として紀念撮影をした、一同益々元氣旺勢、正午に五條の辨慶樓についた、今迄の事皆面白いたのしい事ばかりであつた。

御求めは既製品も 高島屋洋服店 電二二六

歸還兵の東京見物（八）

大森 勇

寺師君は今夜は軍服と閣下をぬぎ捨てゝ、容廣と君に溶換へてる。學生時代から酒豪として聞えた丈けあつて、盃のやり取りは續け樣に五、六回つき合はせられる。嘗つては今西鄕と迄うたはれた人で線が太い。默々としてるが親みがある。恐ろしく眞面目だが少しも窮屈でない。寺師君の美談は婦人倶樂部の五月號に載つてる。あの美談を讀んで泣かぬ人はなからう。私も泣かされた一人である。美談の內容はこうである。寺師君は日本の飛行醫學の創設者で權威者であるのだが、（未だ中佐の頃患者に苦痛を與へること少く、しかも迅速な輸送方法として、飛行機を使はねばならぬと云ふ信念から、獨力で必死の研究を續けた）貯金を皆下げたりその他の方法を講じて見たが、研究費は如何しても四百圓足りなかつた。その中百圓は後藤新平伯が出して吳れたが、殘りの三百圓は幾度溜息をついて見ても出て來なかつた。ある日淺草區三筋町八十七番地山田一夫の名前で三百圓の爲替がとゞいた。淚の出る程嬉しかつたのだが薩摩武士の血をうけついでる直情で正義一徹の寺師中佐は全く知らぬ人から補助を受けるのは良心が許さなかつた。その日夕方早目に仕事を切り上げて淺草に出て山田氏を尋ねたが見當らなかつた。交番で訊ねて見ると南千住に移轉した人に山田と云ふ人があつたと云ふので南千住に行つて訊ねて見たがわからぬ。當時寺師中佐は所澤飛行場の格納庫の一偶に研究室を設け、家族は小石川に別居させて一週一回歸宅することにしてあつたが、その日悄然として自宅に歸り山田氏の手紙を示して一部始終を語つた。夫人はその人にあとからわかれば返濟するとして、御國の爲めなのだから借用する樣にとすゝめた。中佐は夫人の意見を容れた。斯くして傷兵輸送機が出來上り、大成功裡に所澤飛行場で公開飛行が行はれたのである。特に山階宮殿下から銀製の傷兵輸送機の模型が御下賜になつた。夫人は感激の餘り額を襟ふて泣き崩れた。その年の夏夫人は急性肺炎にて二十九才のうら若さで逝去された。初七日の過ぎたあの日曜に、亡き夫人の日記を出して見たら（今日指環と帶止が質れて三百圓まとまつたので山田一夫の名で送る）と書いてあつた。探し求めてた爲替の主はわが妻であつたのだ。中佐は小石川傳通院の夫人の墓に詣でゝ、夕闇に靜もる墓地の一隅に、中佐はいつまでも男泣きに泣いたのであつた

平署の會議室で 縣主催の防空展

今廿七日から三十一日まで 何れも目を引く約千點

本年第一次の防空訓練實施に先き立つ縣主催の防空展覽會は今二十七日から三十一日まで五日間平署の會議室に開催されたが「空は我等の生命線護れ我等の大空を」と大書した入口から會場に陳列する小學生の標語、ポスター及び家庭防空群、防毒衣着用の模型並びに瓦斯の性狀、爆彈投下の建築物に及ぼす被徹程度、燒夷彈の燃燒、燈火管制、防空監視の聽音機等についての說明、幕政當時に使つた警報の陣太鼓から竊口その他消防史を諸器具によつて展示されたる出品總數約一千點いづれも入場者の目を引いてゐるが學生の標語には「不意の空襲不斷の訓練」「銃とる意氣で防空報國」など觀覽者を肯かしむるものゝ中に石城郡から左記二點が揭げられてゐる、

▲よく出來て戶每にはられた合格證…飯野小學校高二天野穗子、平和なときに忘れぬ訓練…內鄕第二校五年渡邊忠弘、

小名濱各校の海軍記念日

行軍と映畫會

小名濱町實業學校では海軍記念日の今二十七日一部、二部生をもつて植田町小濱海岸まで演習行軍、實科高女全生は

農村

合理的にやれば儲かる農經營

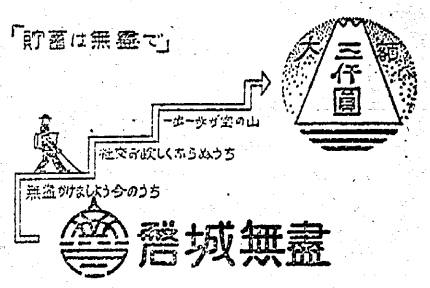
（上）百姓ほど面白いものなしと精農家談

農村の青年は「百姓は儲からぬ、軍需工場にでも働いて一儲けしやう」と兎角農業を嫌ふ傾向にあるが「農業も合理的に經營すれば斯の如く儲けがあつて健實なものだ」と十四年度中の農業日記を公開して思慮の足らない人達に呼びかけてゐる精農家がある、それは埼玉縣北足立郡石戸村の鈴木敬二と云ふ君、同君は本年三十五歳、縣立熊谷農校出身、埼玉縣畜民協會の優秀メムバーの一人で先年同會から表彰されたこともあるが增産奬勵時代に如何にせば勞力を調整し農業經營合理化の實を擧げられるか一家六名が一致協力研究努力を續けた結果昨年度は總收入實に六千六十三圓四十六錢をあげた、

この中から農業經營費千三百七十圓四十錢、▲生活費（住居、飲食、光熱、被服、什器各費）四百七十一圓四十四錢▲文化費（教育、修養、交際、嗜好、娯樂その他）六百八十五圓六十三錢▲諸稅金二百三十四圓四十三錢を差引いても三千三百五圓五十六錢の純益金をあげ時局下に應しい自作農の模範を示してゐる、鈴木君の綿密な日記によると、

同家の耕作面積は水田六反五畝歩▲畑三町五反歩▲園地一反歩の合計四町一反歩でこれに耕作したものは大麥二町二反四畝歩、

「貯蓄は無盡で」

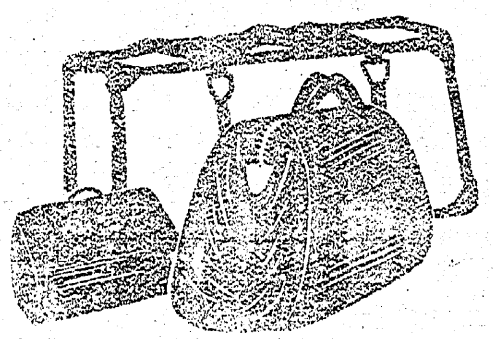


御婚禮着付
和洋結髪
パーマネント・ウエーブ
貸衣裳、貸かつらを御利用下さい
何卒御用命の程を
手塚美容院
（徒弟入用）
平市新田町

醬油、味噌、たひら正宗、經節食料品
明治生命磐城代理店
お醬油は……ヤマフル
山崎合名會社
電話 營業部 本店 二一七〇番
山崎與三郎

内科、小兒科
大森醫院
入院應需
醫學士 大森勇
平市南町 電二五八番

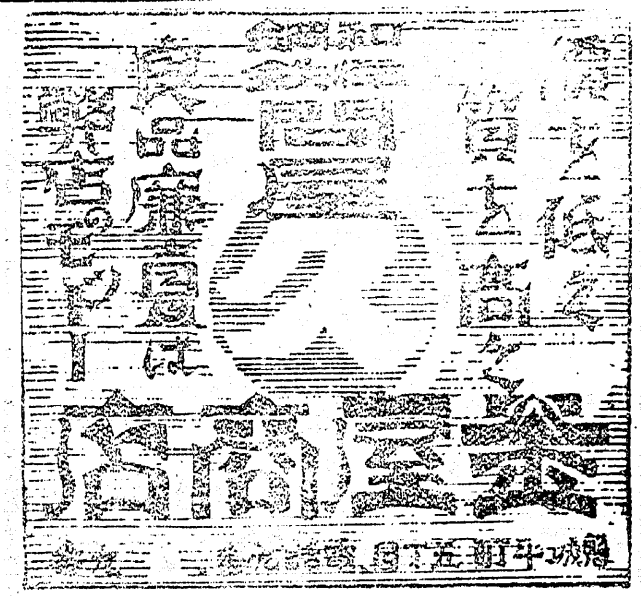
内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
平市田町 電話五一三番
院長 醫學士 高久忠



カバンと洋品類
（平市新道通り 前驛寄り）眞砂屋（電話五六）

平市 平市役所跡
平市病院
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏（電話六四一番）
内科 小兒科 院長 鈴木定藏
外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
物理的療法科 レントゲン科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間……毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す（急患は此の限りにあらず）

病室增築、手術室完備
産科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」



電話 買ひます
電話 賣ります
何れにも有利な御相談に應じます、
平市田町一
五十嵐茂 電話六一六

根本産婦人科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
（入院隨時）